

明石市立大蔵中学校だより「2023年11月13日(第7号)」



「2023年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

校長 山脇 裕

令和5年4月18日(火)に、中学3年生を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」につきましては、個人の結果はすでにお返ししていますが、本校全体の分析ができましたので詳細を以下の通りお知らせいたします。なお、本調査における、教科に関する調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることから、明石市では、学校別の平均正答率は公表せず、文書標記とすることによりお知らせいたします。

1 実施生徒数

調査対象学年	本校	明石市	兵庫県(公立)	全国(公立)
中学校第3学年	194	2,270	39,992	893,528

2 調査内容

(1)教科に関する調査

知識・技能、知識・技能を活用する力、
課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
○国語(50分)15問 ○数学(50分)15問 ○英語(50分)17問

(2)生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査 (30分程度・72項目)

3 調査結果

教科	平均正答率(%)			
	本校	明石市	兵庫県	全国
国語(R4)	市平均より少し高い	71	69	69.0
国語(R5)	市平均より少し高い	71	69	69.8
数学(R4)	市平均と同じ程度	55	53	51.4
数学(R5)	市平均より少し低い	54	52	51.0
英語(H31)	市平均より5ポイント程度高い	57	58	56.0
英語(R5)	市平均より少し高い	48	47	45.6

4 教科に関する調査分析

(1)国語科

<強み>○全国・県との比較で正答率が最も高くなったのは、「読むこと」領域で、文章の読み取りという点で読解力が身につけてきていると言えます。

○記述問題で無回答率が大幅に低くなっています。日ごろの授業プリントで、記述に慣れさせていることがこの結果につながり、「書くこと」への抵抗が低くなっていると考えられます。

<課題>●「推し量る」の漢字書き取り問題、レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選ぶ問題で正答率が低かった。語彙を伸ばす取り組み、正しい文章の推敲技術等が課題点です。

●「行書の基礎的な書き方を理解して書いているか」という質問に対しては、「当てはまる」と答えた生徒の割合が全国・県の平均より低いです。

⇒◎国語の勉強が好きである・大切だと思うと答えた生徒の割合が高いです。また、国語の学習については、「よく分かる」「将来役に立つ」と思っている生徒の割合が全国・県の平均よりも大幅にポイントが上回っています。

◎言葉の特徴や使い方に関して、日頃の取組から語彙を増やす努力が必要です。

(2)数学科

<課題>●「図形」「関数」「データの活用」に関しては、努力が必要な項目であると考えます。

●「思考・判断・表現」に関しても、努力が必要です。

●計算や基礎・知識は理解できているが、知識を使っているいろいろな問題解決につなげることが難しいと考えます。また、問題文を読んで情報を整理することも難しいと考えます。

⇒◎「数学が大切だと思う」と答えた生徒は約90%で、数学の大切さを認識しています。

◎理解した内容の活用や、問題文を読んで必要な情報を整理する練習をしていく必要があります。

(3)英語科

<強み>○「思考・判断・表現」を問う問題について全国・県より正答率が高くなっています。

○「読むこと」については、全体的に正答率が非常に高く、長い文章を読み、概要を捉えるという力については非常に優れていると考えられます。ただし、回答が選択式の問題については正答率が高いのですが、自由記述の問題については全国・県と同等の正答率となっています。

○アウトプットに関する質問については、どの項目も大幅に全国・県を上回っており、授業の中で英語を使用して自分の考えをまとめたり、発表したり、お互いの意見を聞き合ったりする活動に満足していることがわかります。

<課題> ●「聞くこと」の問題については、単純な情報を聞き取ってそのまま解答する問題については正答率が高いですが、情報が複合的になる問題については全国・県よりも正答率が低くなっています。

●「書くこと」については、文法的な正しさを問う問題については正答率が低くなっており、日常における自然な会話表現の英語や、自由英作文の問題については正答率が高くなっています。少しずつ自分の思いを英語で書くという学習に慣れ親しんでいることがうかがえます。

●「話すこと【やり取り】」の問題については、いずれの問題においても正しく解答している割合は低く、正答ではあるが、コミュニケーションに支障をきたさない程度の誤りを含んだ解答が多くありました。コミュニケーションにおける対話力の正確性については今後の課題です。

●「話すこと【発表】」の問題についても、正確な英語で正答できた生徒はおらず、数名の生徒のみが、おおむね正確な英語で正答できました。

●【やり取り】でも【発表】でも7～8割もの生徒が誤った解答をしています。また、無解答という結果を真摯に受けとめ、即興で話す活動を授業で多く取り入れ、目的・場面・状況を理解して正確に、自信をもって英語を話せる生徒の育成を目指します。

☞◎本校の生徒は、外国に対する興味・関心が大きくないという結果が得られました。

◎英語の学習について、「楽しい」と感じている生徒や「よく分かる」という生徒の割合については、全国・県の平均よりも大幅にポイントが上回っています。

◎英語の学習について、「大切だと思う」と感じている生徒や、「将来役に立つと思う」と感じている生徒については、全国・県の平均を下回っています。

◎家庭学習の中で、ICTを利用して自ら英語を聞いたり話したりするという学習にはあまり結びついていません。

5 生徒質問紙に関する調査分析

(1)生活面

<強み> ○「朝食を毎日食べている」「就寝と起床時刻が安定している」割合が全国・県平均と比べても高く、基本的な生活習慣が身につけている生徒は多いです。しかし、少数ですが、当てはまらないと回答した生徒もいるため、家庭環境の乱れ(昼夜逆転、虐待の疑い、親子間の不和等)がないかをよく観察する必要があります。

○対人関係について肯定的に回答した生徒の割合は非常に高く、90%以上の生徒が「困っている人を助ける」「いじめはいけないことである」「人の役に立ちたい」と考えています。今後も心の教育に努めていきます。

○学校に行くのが楽しく、友人関係に満足している生徒の割合は多く、85%以上です。満足していない生徒については、その原因が学業不振や生活リズムの乱れ、友人関係のこじれ、良好な人間関係の構築が難しいなど、様々であり、それぞれの生徒の不満・不安・悩みを見極めて、個に応じた支援をしていく必要があります。

○学校の部活動に参加している生徒の割合は全国・県平均と比較しても非常に高いです。

<課題> ●自尊感情については全国・県平均より5ポイント程度低く、「教師からよいところを認められている」と回答した生徒の割合は全国・県平均より3～5ポイント程度高いです。生徒の自尊感情を高めしていくため、仲間から認められる経験を意図的に設けたり、生徒のよさを家庭とも共有したりすることで、生徒の自信につながる声かけを学校・家庭でも増やしていくよう促していきたいと考えます。

●将来の夢や目標を持っている生徒の割合は全国・県平均よりも若干下回っています。自尊感情を高めることと共に、将来の夢や目標を持ち、希望をもって前向きに生きていく生徒の育成を目指します。また、進路学習や総合学習、道徳を通じて将来の生き方について考えさせる機会を持ち、夢や目標を持って生きていくすばらしさを伝えていきます。

●地域の行事に参加している割合は全国・県平均と比べても顕著に低いです。地域の方からも「最近子どもの姿を見なくなった」との話をよく耳にします。学校・家庭・地域が連携して生徒の健全な育成に関わっていくように、そして、地域に貢献できる生徒の育成を目指し、「トライやる・ウィーク」などを通じて、地域とのつながりを大切にしていきます。

(2)学習面

<強み> ○読書自体が好きという生徒の割合は全国・県の平均と比べても高く、普段から読書をする習慣がある生徒の割合も少し高くなっています。

○授業におけるタブレットの利用については、全国・県の平均よりも大幅に上回っており、生徒はそれが非常に役立っていると感じています。

○話し合い活動を行うことが自分の考えを広げたり深めたりすることに役立っていることを実感している生徒は多いです。

☞◎概ね生徒は教員が行う授業やサポートに満足していると考えられます。

◎家庭学習については全国・県平均とほぼ同じ数値となっていますが、平日長時間家庭学習をしている生徒の割合は少し低くなっています。学習塾や家庭教師の先生に教わっている生徒の割合は全国平均と比べて高く、学校の進度より進んだ学習と復習を並行して教わっている割合が特に高くなっています。

◎学級活動については、自分たちが話し合いを通じて自治的にクラスを運営し、自分が集団の中で果たすべき役割について考えていることを読み取ることができます。総合的な学習の時間や道徳の授業についても、概ね自分の意見を発表したり話し合い活動を行ったりすることができています。

ご家庭における基本的な生活習慣・学習習慣の定着が、しっかりとできていることが根底にあると感じております。今後も、お子様との豊かな関わりや本校の教育活動へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この結果についてご質問等がございましたら、ご遠慮なく学校までご連絡ください。